

平成25年度  
障害者虐待対応  
状況調査  
障害者福祉施設  
従事者等による  
障害者虐待

# はなみずき

虐待防止委員会だより

No.5

(1) 添付資料の図をご覧ください。これは、平成26年11月に厚生労働省によってまとめられた施設従事者による障害者虐待の報告書の概要です。全国で相談通報は1,860件あり、そのうち263件が虐待の事実が認められています。このうち、大阪府の相談通報は152件と全国第3位で、虐待の事実が認められたのは22件で第2位でした。虐待の種類は、身体的・心理的虐待が多いのですが、その他の虐待も目立つことが多いだけで、もっとあるのかもしれません。この数値を頭に置きながら、日々の利用者支援を振り返ってみると、たいですね。

● H27年度実施計画（重点実施項目）

グループホーム ● H26年度振り返り

平成26各事業所  
ジョブジョイントおおさか  
たかつきプランチ

平成26年度振り返り  
平成27年度実施計画

・毎月の職員会議で「人権について」の議題を設ける

日々の業務を振り返る、呼称や対応方法について振り返る、ご利用者の日常生活や就労場面における人権について意見交換をするなど、定期的に議題を設ける。

・虐待防止の研修会過去の虐待事案などを職員が勉強をし、内部研修で発表する。スタッフ全員で虐待防止について学びを深めることを目的とする。

・合理的配慮の研修会就労支援をする上で話題となりうる「合理的配慮」について、職員が勉強をし、内部研修で発表。スタッフ全員で合理的配慮について学びを深めることを目的とする。

● H27年度 重点実施項目① 基本理念の詳細版配布、契約更新時S.V.で質疑応答、意見のすり合わせを行なう。4~5月に実施予定。

② 基本理念の振り返りチェック。7月実施予定。8月に個別S.V.③人権学習。(1月の法人研修を受けて団託職員のどなたかに実施して頂く予定。) 12月実施予定。④人権学習後グレーベンアンケート実施。2月に個別S.V.⑤ケース検討会を通して人権意識を高めいく。基本的に毎月。⑥必要に応じて個別にS.V.やJ.T.の実施。随時。

・基本理念の策定J.J.おおさかとして、ご利用者への関わり方や呼称・言葉遣い・記録の仕方などについて、基本的な理念の策定を行う。

研修後に、振り返りシートで各自の支援・対応について振り返りチェックをして

した研修をしていただく。

就労支援をする上で話題となりうる「合理的配慮」について、職員が勉強をし、内部研修で発表。スタッフ全員で合理的配慮について学びを深めることを目的とする。

以降は、毎月の職員会議で人権について話題とすることに努めたが、あまり活発な意見はでなかつたことから、次年度において異なる取り組みが必要であると考

えている。このうちは、相談通報は152件と全国第3位で、虐待の種類は、身体的・心理的虐待が多いのですが、その他の虐待も目立つことがないだけ

で、もっとあるのかもしれません。この数値を頭に置きながら、日々の利用者支援を振り返ってみる機会としたいですね。

基本理念作成とその振り返り、人権学習の実施を計画に盛り込んだ。・4月

月 生活支援員対象で基本理念チェックシートを実施、集計と配布。・9月

人権学習、平日支援員対象と週末支援員対象で基本理念チェックシートを実施する。

・10月 なきはらと共に虐待に関するグレーベンアンケート配布。内容の集約と配布。・11月 職員と個別で面談、グレーベンアンケートの内容を深める。

● H27年度 重点実施項目① 基本理念の詳細版配布、契約更新時S.V.で質疑応答、意見のすり合わせを行なう。4~5月に実施予定。

② 基本理念の振り返りチェック。7月実施予定。8月に個別S.V.③人権学習。(1月の法人研修を受けて団

託職員のどなたかに実施して頂く予定。) 12月実施予定。④人権学習後グレーベンアンケート実施。2月に個別S.V.⑤ケース検討会を通して人権意識を高めいく。基本的に毎月。⑥必要に応じて個別にS.V.やJ.T.の実施。随時。

・基本理念の策定J.J.おおさかとして、ご利用者への関わり方や呼称・言葉遣い・記録の仕方などについて、基本的な理念の策定を行う。

研修で決定した「職員行動チェックリスト」を実施し、8月の内部研修にて「虐待防止」についての内部研修を行なう。(職員全体で、最終

月に実施し、集計を行った

結果より、人権研修を実施する。3. 予防につ

ながるチェックリスト(仮称)の結果より、人権研修を実施する。3. 予防につ

いて意見交換につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

スは療育相談につなげる。「ちょっと気になる親のチエックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

## 児童発達支援部

○平成26年度 児童発達支援部における虐待防止についての目標

(目標) 1. 職員に対し、「職員行動チェックリスト」(仮称)を実施し、職員の人権意識を高める。2. 「職員行動チェックリスト」(仮

称)の結果より、人権研修を実施する。3. 予防につ

ながるチェックリスト(仮称)の結果より、人権研修を実施する。3. 予防につ

いて意見交換につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

スは療育相談につなげる。「ちょっと気になる親のチエックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

スは療育相談につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

スは療育相談につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

スは療育相談につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

スは療育相談につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

スは療育相談につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

スは療育相談につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

スは療育相談につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

リスト」を活用し、必要なケースについては、療育相談を実施する。(職員全体で)・(外)保護者研修の実施(月1回)・(外)チェックリストを元に、必要に応じた療育相談を実施する。

○平成26年度 振り返り

・毎月の職員会議で「人権について」の議題を設ける

日々の業務を振り返る、呼称や対応方法について振り返る、ご利用者の日常生活や就労場面における人権について意見交換をするなど、定期的に議題を設ける。

・虐待防止の研修会過去の虐待事案などを職員が勉強をし、内部研修で発表する。スタッフ全員で虐待防止について学びを深めることを目的とする。

・合理的配慮の研修会就労支援をする上で話題となりうる「合理的配慮」について、職員が勉強をし、内部研修で発表。スタッフ全員で合理的配慮について学びを深めることを目的とする。

● H27年度 重点実施項目① 基本理念の詳細版配布、契約更新時S.V.で質疑応答、意見のすり合わせを行なう。4~5月に実施予定。

② 基本理念の振り返りチェック。7月実施予定。8月に個別S.V.③人権学習。(1月の法人研修を受けて団

託職員のどなたかに実施して頂く予定。) 12月実施予定。④人権学習後グレーベンアンケート実施。2月に個別S.V.⑤ケース検討会を通して人権意識を高めいく。基本的に毎月。⑥必要に応じて個別にS.V.やJ.T.の実施。随時。

・基本理念の策定J.J.おおさかとして、ご利用者への関わり方や呼称・言葉遣い・記録の仕方などについて、基本的な理念の策定を行う。

研修で決定した「職員行動チェックリスト」を実施し、8月の内部研修にて「虐待

防止」についての内部研修を行なう。(職員全体で、最終

月に実施し、集計を行った

結果より、人権研修を実施する。3. 予防につ

いて意見交換につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

スは療育相談につなげる。エックリスト(仮称)>を作成活用し、心配なケー

ては3事業所共通して「当てはまる」や「やや当てはまる」にチェックをついた職員が多数。（課題）・8月の研修を通して、「職員としての業務に対する考え方」については、一定の共通理解を得ることができたが、その後のファイードバックが出来ていなかった。また、「職員行動チェックリスト」についても、一度の実施のみで、全体に結果を周知したものの、個人へのファイードバックや、継続した聞き取りには至っていない。「親と子の気になる行動リスト」について、全体への周知は実施したが、各事業所で使用できていない。↓H27に向けても、全体への計画として挙げていく。

○平成27年度児童発達支援部における虐待防止についての目標（H27目標）・児童発達支援部での「基本理念と職員としての働き方」を制定し、5事業所（an, will, Link, PASSO, az）共通の理念とする。

「職員行動チェックリスト」の修正を行い、定期的に実施し、各上長による個人へのファイードバックを行う。（職員への聞き取りと、

平成26年度に引き続き、人権研修の一環として「内部研修」を行う。・児童発達支援部の「虐待防止マニュアル」の作成（H27目標に対する具体案※検討中事案）

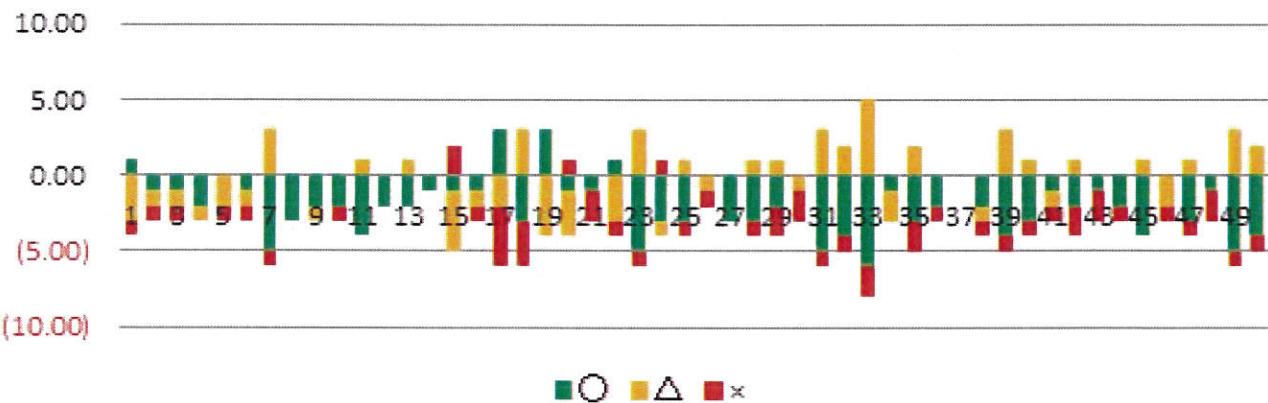
<内部研修について>①「親と子の気になる行動リスト」の各事業所の集約を共有し、各事業所からのケース事例を挙げて報告・共有する。②虐待防止施策について、虐待を発見後の通報→報告→措置となるのか？など市町村、都道府県の役割と責務や関係機関の機能が実際どうなっているのか？を知る。<児童発達支援部の虐待防止マニュアルづくり>①上記のリスト集約結果から出てきた課題について、職員の気づきと、通報に値する事案であることの認識を持つことや、勇気を出して通報できるための手順を明確にする。

■ H26年度の振り返り  
・4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3月の3か月まとめて業務の振り返りチェックシートに

**ジヨブサイトよど**

て全支援員の振り返りを行った。3か月経過した翌月にグループリーダー→主任を各事業所で配布し、事業所で定期的に集約を行う。下図のようなグラフ化したものをファイードバックしじョブサイトよどとしてどのような事になつているかの把握などに役立てもらつた。その際には施設長からこのグラフを見て感じたことなどのコメントを付けてバツクした。

## 2014.4-6 業務振り返りチェックシート 増減表



■ 来期の目標  
・利用者のほとんどの方が自閉症や発達障害などで障害特性を学ぶことは、虐待を防止する上で非常に大きいことだと考える。職員研修にて障害特性の学習を行ったり、難しいケースに関しては、中山SVにも入って頂きケース会議を行うなど継続して実施していく。  
・業務の振り返りシートを継続して3か月に1回全職員に提出してもらう。必ずコメントを上長が記入して下さい。保護者対象のファイードバックする。  
・風通し良くジョブサイトよど内をいろんな方に見学してもらう。保護者対象の「オープンよど」であったり、実習生の受け入れ、見学の受け入れを行い、その際には虐待防止委員会で作成した実習生、見学者向けのアンケートを記入してもらう。そのアンケートを全職員に見てもらうようにコミュニケーションのお知らせにアップする。

(虐待防止委員会発行)

# 平成25年度 障害者虐待対応状況調査<障害者福祉施設従事者等による障害者虐待>

参考資料2

